



校長だより

日中丸



第6号
R1. 6. 5

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

生徒総会 5.30(木)

生徒総会が開催されました。昨年度の会計報告に続き、今年度の活動方針、予算案、生徒会選挙規約が提案され、全員賛成で可決されました。今年度の生徒会の活動目標は「everyone makes 日中！」です。この目標には「積極的に意見を出し合って、みんなで日中を作り上げていく」という意味が込められています。今回の生徒総会も、まさに、自分たちの手で作り上げたものでした。

後半には、各学級の級訓が発表されました。生徒会、各学級とも、一人一人が工夫や努力を惜しまず取り組み、目標を達成してほしいものです。期待しています。



ちょいボラ

5月27日(月)と30日(木)、6月4日(火)に、「ちょいボラ」を行いました。活動内容は運動場の整備です。暑い中、額に汗しながらがんばってくれました。先生も参加し、ともに汗する姿は、すてきでした。それぞれ10分程度の活動でしたが、運動場がきれいになりました。参加してくれたみなさん、ありがとう。



権田先生特設授業 5.28(火)

南知多町教育委員会から、教育長をはじめ4名をお迎えして、本校の教育活動に対して指導・助言をいただきました。全員が授業を公開する中、権田先生が特設授業を行いました。3年理科「電池とイオン」の単元で、電池ができる条件を調べました。グループごとに、協力して実験に取り組む姿が印象的でした。授業の終わりには、分かったことや新たに疑問に思ったことなどをまとめる振り返りの活動を行いました。振り返りを行うことで、次の授業への意欲をもつことができました。

午後からは、先生同士で授業の検討を行い、その後、指導・助言をいただきました。先生たちも、今日学んだことを明日からに授業に生かしていきます。



朝会より 5.27(月)

生徒発表（5月のテーマ：学校生活について）

北川琉捺さん（1年）

私は、中学生になって最初のころは、不安と緊張でいっぱいでした。けれど、1か月経ってからは、不安と緊張はなくなり、楽しくなってきました。だから私は、最初のころの不安と緊張は何だったんだろうとふり返りました。

最初のころの不安は、勉強についていけるのかという不安がありました。緊張は、2・3年生のようにになれるかでした。

けれど、今では、そんなことは考えずに、1年生は1年生らしく精一杯の行動をとっていけばいいと思いました。だから、これからは、1年生らしくがんばっていききたいと思えます。

鈴木優依さん（1年）

私は最近、学校が楽しいです。でも、不安なことが2つあります。それは、勉強と部活動です。勉強は、小学校のときとは違い、授業の内容が難しくなりました。それに、私は勉強が得意ではなくて、授業の内容がしっかり理解できるか不安です。だから、理解できるように、ノートを分かりやすくまとめたり、分からない問題があったら復習をしたりして、できる問題を増やしていきたいです。

部活動は、先輩たちについていけるか不安です。私はまだ、バスケットボールの扱いが上手にできなくて、先輩たちみたいに上手になれるか不安です。だから、練習して、少しずつがんばっていききたいです。この不安なことがなくなれば、もっと学校生活が楽しくなると思えます。だから、がんばっていききたいです。

笠島哲先生の話

こんな話をしてくれました。

みなさんの家に、テレビはありますか。ある人がほとんどだと思いますが、私の宿舎にはテレビがありません。この島に来て、テレビのない生活を続けて数年経ちました。私のことをかわいそうという人もいられるかもしれませんが、私自身も最初は、テレビのない生活はいやだなと思っていました。でも、テレビのない生活を続けるうちに、この生活も悪くないと思えるようになりました。本を読んだり勉強したり、トレーニングをしたりと、今までテレビを見るのに使っていた時間を別のことに使うことができたからです。その結果、知識が深まったり運動能力が向上したりと、よいこともたくさんありました。

この経験から、一見いやだと思ふことも、見方を変えて見ればよいこともあるのだと思い、今まで興味の出なかった様々なものに手を出してみました。すると、どんなことにもそれぞれ違った味わいがあるのだと知りました。自分はおいしくないと感じていた食べ物も、まずい食べ物というわけではなく、ただ自分がそのおいしさを理解できないだけだったのです。

みなさんも、一見恵まれていないと感じるときや、興味が出ない物事をやらなければいけないときも、その状況を楽しもうとしてみてもどうでしょうか。きっと、その方が人生を楽しめると思います。

